



KAMIGO

～since2015～

上郷中だより第8-1号
令和8年4月24日
横浜市立上郷中学校
横浜市栄区犬山町6-2
電話(892)2478

「令和8年度の始まりに当たって」

校長 勝 俊一

141名の新入生を迎え、389名の全校生徒と42名の教職員、各種ボランティア・教育支援員の皆様とともに令和8年度の上郷中学校の学校生活が始まりました。引き続き校長を務めます勝でございます。今年度も学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

3月下旬から4月上旬の菜種梅雨のおかげでしょうか、桜も学校生活のスタートを彩ってくれました。中学校周辺が季節の移り変わりを感ぜられる豊かな自然に囲まれていることを実感し、この環境に改めて感謝いたしました。この学校だよりが発行される頃には部活動の本入部も始まり、1年生も含め学校全体で活動が本格始動していると思います。

さて、社会が様々に変化していても自分の判断（主他的に）で生活していける力を育成する、これが学校教育の目標とされます。自分で判断することを迫られた時、判断の材料となる事実や知識をどのくらい持っているかが大事になります。人は過去の体験や身に着けている知識をもとに自分の考えを作り上げていくからです。しかし、個人が持つ体験や知識はどうしても限定的になってしまいます。したがって、他者と意見交換を通じて新しい知識や思いつかなかった発想を集めていく作業も重要となります。自分の持つ知識だけを頼りに思い付きで判断することなく、他者との関わりによって自分の考えをより広く成長させる姿勢や方法を身に着けることが求められているのです。

上郷中学校の教科授業が知識の伝達や集積だけに終始せず、話し合い活動を通して生徒同士の意見交換にも力を入れているのはこのためです。総合的学習の時間に専門的見地を持つ方を招いて生徒の視野を広げたり、身の回りに存在する課題を自分事として捉え、仲間との意見交換や同じ課題に取り組んでいる組織や地域の方との交流の機会を大事にしています。

今年の生徒会スローガンは「^{いろいろ}彩の旅」と発表されました。生徒それぞれが持つ個性を「彩」と表現し、新しいことに挑戦し互い繋がって向上する道筋を「旅」と表しているそうです。

なんてセンスにあふれたスローガンなのでしょうか。まるで学校教育の最上位目標、すなわち上郷中が力を入れている活動を象徴しているように感じています。新しい年度を迎えること発表される生徒会スローガンですが、少ない文字数の中に、教育現場で最も必要とされている感性や行動の仕方が凝縮されており、毎年感心させられています。

このスローガンのもと、今年も教育活動全体で求められている力の育成に取り組んでまいります。ご家庭の皆様、地域の皆様、上郷中学校の教育活動へのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。



「第12回 入学式」

新入生代表として、行木慶さんが『新入生代表の言葉』を、堂々と気持ちを込めて話しました。

だんだんと暖かくなり、春を肌で感じられるようになりました。今、きれいに咲いている桜は、ぼくたちの入学を温かく見守ってくれているように思えます。

ぼくたちは、たくさんの思い出が詰まった小学校を卒業し、今日、上郷中学校という新たなステージに立ちました。こうして小学校時代共に過ごした仲間たちと一緒に、新しい一歩を踏み出せることが、心強く、うれしい気持ちでいっぱいです。

ここ、上郷中学校にはいろいろな小学校から進学してきます。今日初めて出会う仲間もたくさんいます。不安もありますが自分から進んで話しかけ、少しずつ距離を縮めていきたいです。みんなで助け合い、楽しく充実した三年間にしましょう。もちろん、楽しみなことばかりではありません。中学校では勉強の内容が難しくなり、少し気を抜けば授業についていけなくなるという不安もあります。だからこそ、毎回の授業に真剣に取り組みたいです。

生活のことでも取り組みたいことが二つあります。一つ目は、困難に立ち向かう勇気をもつことです。中学校では勉強や部活動で、困難から逃げ出したくなる時があるかもしれません。しかし、そんな時こそ一歩踏みとどまり、自分の力で立ち向かいたいです。二つ目は、自分の頭で正しく判断し、行動することです。何が良いことで、何が悪いことなのか自分の頭でしっかりと考え、周りに流されずに正しい行動をしていきたいです。

中学校の職員のみなさま、先輩方、保護者のみなさま。これから三年間よろしくお願
いいたします



「第12回体育祭に向けて」

体育祭担当 西野 遼太

5月21日（木）第12回上郷中学校体育祭を実施します。今年度のスローガンは、『マジすぎて滅！！グラウンドの熱気はみるみる上昇中！』に決定し、体育祭委員を中心に準備を始めています。4月27日（月）からは、毎年恒例の大縄跳びの昼休み練習が始まります。今年度の体育祭は学年ごとの学級対抗に加え、全校を赤・白の2色に分けての色別対抗で競います。種目は短距離走・バラエティ走の個人種目に加え、学年種目（1年：飛びつき綱引き、2年：台風の目、3年：全員リレー）、大縄跳び、学級対抗リレー、色別綱引きで競います。また、有志の部活動による部活動対抗リレーも行われます。全校が団結し、それぞれがもてる力を発揮し熱い体育祭を彩ります。ぜひご期待ください。

「第11回 吹奏楽部定期演奏会の御礼」

吹奏楽部顧問 磯尾 統真

3月27日（金）栄公会堂にて、第11回上郷中学校吹奏楽部定期演奏会を開催いたしました。当日は多くの方々にご来場いただき、令和7年度の締めくくりとなる演奏に盛大な拍手をいただきまして、ありがとうございました。また、受付の『感動箱』には多くのお気持ちやご支援を賜り、心より御礼申し上げます。いただきましたご支援は、今年度の吹奏楽部の活動に大切にに使わせていただきます。

地域の一員である自覚を忘れず、今年度も、地域に貢献できる吹奏楽部として活動していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

「カッコいい大人への第一歩」

第1学年主任 亀岡 敦

4月7日、上郷中学校では141名の新入生を迎え、入学式が行われました。少し大きめの標準服に袖を通し入場してくる新入生の姿を見ながら、これからの3年間でどんな成長を見せてくれるか、とても楽しみにになりました。

この緑学年で3年間合言葉にしたいのは、「カッコいい大人になろう」です。大人になるということは、ある日いきなり子どもから大人に変わるわけではありません。日々、少しずつ色々な経験を積み重ね、少しずつ大人へと成長していきます。緑学年の生徒たちには、ぜひ「カッコいい大人」になってもらいたい。そのためには、この中学校3年間で何を積み重ねるのか、どんなことが生徒たちにとっての「当たり前」になるのかが、とても大切だと思っています。一つ一つの経験を大切に、一歩ずつ成長して行ってほしいと願っています。

我々教職員も、生徒たちに「カッコいい大人」の姿を見せられるよう、そして生徒が「カッコいい大人」へと成長していけるよう、共に歩いていきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「小さな一歩も、大切な前進」

第2学年主任 葛西 康子

青学年136名で、新しい学年がスタートしました。いよいよ先輩として、上郷中学校の中堅として活躍することになります。卒業式の準備や片付けの様子を見て、一年間の大きな成長を感じましたが、新学期を迎えてさらに頼もしい青学年の姿に出会え、これからとても楽しみです。

思春期を迎え、心身ともに不安や悩みを抱える時期を迎える生徒達を、保護者の皆様や地域の方々と共に支えていきたいと思っております。困った時には、周りにいる誰かに頼れる、そして周りの人が困っていたら声をかけることができる、そんな学年集団を目指して「前進」していきます。

大きな一歩を踏み出すことだけが「前進」ではありません。昨日より少しだけできることが増えること。昨日より少しだけ周りの人に優しくなれること。昨日より少しだけ自分のことを好きになれること。日々の小さな一歩を積み重ねて、学年職員一同、青学年の生徒達と進んでいきたいと思っております。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

112名の赤学年にとって、いよいよ義務教育最後の1年間が始まりました。始業式や対面式で、凛とした表情で整列する赤学年のみなさんを見て、この2年間の大きな成長と3学年に進級したということを実感しました。

今年度は委員会活動や部活動など、後輩たちの前でリーダーシップを求められる場面が昨年以上に増えると思います。はじめはうまくできなくても、様々なことにチャレンジして自分の経験値を上げる努力が大切です。体育祭や文化祭などの行事では、先輩方が築き上げてきた素晴らしい伝統を引き継ぎつつ、赤学年としてのベストパフォーマンスを期待しています。後輩たちに、“何事にも全力で取り組む赤学年”のカッコよさをみせてほしいです。また、自分たちの頑張りの裏にはそれを支えて応援してくれる多くの方々が存在があることを忘れてはいけません。感謝の気持ちを言葉と行動にあらわせる、そんな毎日を送ってほしいと願っています。

今年度末の3月には、卒業式を迎えます。素晴らしい卒業式になるよう、職員一同全力で生徒たちを支援していきます。保護者の皆さま、地域の皆さま、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

「生徒指導専任より」

生徒指導専任 木村 裕太

今年度も生徒指導専任をやらせていただきます、木村裕太です。どうぞよろしくお願いいたします。

私の仕事は、地域の皆様、警察や児童相談所等の関係機関と、連携を調整する役割です。校内で解決すべき課題が発生したときには、学級担任をはじめ、学年、学校全体の職員と協力しながら対応していきます。また相談活動も行っております。生徒のことだけでなく、ご家庭でもお困りのことがあれば遠慮なくお声かけください。スクールカウンセラーとも連携し、少しでも気持ちに寄り添った活動をしていきたいと思っています。多くの大人が一つになって、生徒たちの安全・安心の学校生活を守っていききたいと思っています。

セクシャル・ハラスメント相談窓口

今年度のセクシャル・ハラスメント相談窓口をお知らせします。

気になることがありましたら遠慮なく相談してください。

◎ 嫌なことは、相手に「ノー」と意思表示をしましょう。

◎ 一人で悩まず身近な信頼できる人や相談窓口にご相談しましょう。



- 生徒の窓口 西尾 早稀（養護教諭）・木村 裕太（生徒指導専任）・長谷川 秀人（副校長）
 - 保護者・職員の窓口 勝 俊一（校長）・長谷川 秀人（副校長）・西尾 早稀（養護教諭）
- 教育総合センター（671-3726～8）もご利用いただけます。

スクールカウンセラー相談予定日

スクールカウンセラーの来校日をお知らせします。相談を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。不明な点等ございましたら、生徒指導専任教諭 木村 までご連絡ください。

上郷中学校電話番号 892-2478

相談場所：教育相談室

相談日：筒井 恵里子先生 5月13日（水）、20日（水）、27日（水）

佐野 昭子先生 5月11日（月）、18日（月）、25日（月）